教科名	地理歴史	単位数	2	単位
科目名	日本史A	対象学年・科	4年A、B、C	組
教科担任	黒柳修一			
教科書 副教材等	日本史A 人・くらし・未来 第一学習社			

指導目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	--

		単 元	予定時数	学 習 内 容・目 標
年 間 授 業 内 容	一 学 期	(1) 私たちの時代と歴史 (日本列島の成立と古代の日本、中世・近世の日本)	21時間	・前近代までの日本史について概略を学習する。その上で、日本史を学ぶにあたっての基礎的な知識について理解する。
		(2) 近代の日本と世界 ア近代国家の形成と国際関係の推移 (東アジア世界の転換・開国・明治維新・国境の画定・明治政府の諸改革・自由民権運動・大日本帝国憲法等)		・近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立について学習する。その上で、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察する。
		(2) 近代の日本と世界 ア近代国家の形成と国際関係の推移 (19世紀末の東アジア・日清戦争・東アジアの変革・日露戦争から韓国併合へ等)	23時間	・条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤について学習する。その上で、国際環境や政党政治の推移について考察する。
イ近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (産業化の進展・社会問題から社会運動へ・大正デモクラシーの広がり・第一次世界大戦下の社会・ヴェルサイユとレーニングラード・ワシントン体制とアジア等)	・産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成について学習する。その上で、近代産業の発展と国民生活の変化について考察する。			
	三 学 期	(2) 近代の日本と世界 イ近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 (平民宰相の誕生・大日本帝国の選択肢・昭和恐慌・満州事変・モダン都市と危機の農村・日中戦争・総動員の時代・アジア太平洋戦争・アジアのなかの「敗戦」等)	16時間	・諸国間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係について学習する。その上で、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察する。
評価の 観点 ・方法	授業態度・意欲・応答・発言内容、提出物(ノート提出・課題等)、出席状況、各定期考査(年3回)の得点を総合的に勘案して評価を行う。			